

## 第10回花泉地域統合小学校学校づくり推進委員会

日 時：平成30年9月6日（木）

午後7時～8時30分

場 所：一関市役所花泉支所 東大会議室（4階）

### 次 第

【進行：地域振興課長】

- 1 開 会
- 2 挨拶  
・学校づくり推進委員会会長  
・一関市教育委員会教育長
- 3 報 告  
（1）各専門部の報告について
- 4 説 明  
（1）統合小学校建設候補地にかかる経過と現状について  
（2）懇談会の開催について
- 5 案 件  
（1）スクールカラーの決定について
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

※ 推進委員会終了後、各専門部会を開催します。

専門部会名	会 場
学校経営部会	西大会議室
校名・校歌・校章部会	東大会議室
P T A・地区活動部会	東大会議室
通学対策部会	402会議室
校舎等整備部会	403会議室

### 3 報 告

#### (1) 各専門部の報告について

会議等の名称	開催期日	協議内容等
学校経営部会 (第7回)	H30.6.28(木)	出席者：5名 協議事項 ・部会役員の確認 ・昨年度の活動の確認 ・今年度の活動 特に予定なし
校名・校歌・校章 部会(第7回)	H30.6.28(木)	出席者：6名 協議事項 ・「花泉地域統合小学校」校名の募集方法について 公募原案の推進委員会への提案、公募、校名検討等
P T A・地区活動 部会(第7回)	H30.6.28(木)	出席者：14名 協議事項 ・会員顔合わせ、部会長、副部会長の確認 ・今年度検討事項の確認
通学対策部会 (第6回)	H30.6.28(木)	出席者：10名 協議事項 ・新メンバーの確認 ・検討項目並びに検討スケジュールの確認 ・通学路、安全対策の検討
校舎等整備部会 (第8回)	H30.6.28(木)	出席者：7名 協議事項 ・副部長の確認 ・今後の予定の協議
校舎等整備部会 (第9回)	H30.7.20(金)	出席者：9名 協議事項 ・学校視察について ・基本構想・基本計画内容の確認について

### 4 説 明

別紙資料 No. 1 参照

#### (1) 統合小学校建設候補地にかかる経過と現状について

#### (2) 住民懇談会の開催について

### 5 案 件

別紙資料 No. 2 参照

#### (1) スクールカラーの決定について

### 6 そ の 他

## (1) 花泉地域統合小学校建設候補地にかかる経過と現状について

### 1 事業の進捗状況と課題 (9 月 6 日)

#### (1) 雨水排水処理について

① 建設候補地の排水対策については、土地改良区や県と協議しながら検討を行ってきたが、新老松橋下流の金流川横断排水樋管を改修し、その樋管に流入する水路に直接放流することとした。金流川横断樋管の改修工事は、原因者負担の原則により市が行うこととなり 1 億 1 千万円程度の事業費が新たに見込まれることとなった。

これにより、学校用地検討委員会で検討した他の候補地との建設コスト（用地造成、道路整備等の基盤整備の総額）の比較では、他の候補地と同程度となるものの、安全性や地域連携などの立地環境等ほかの要素による現候補地の優位性は変わらないと捉えている。なお、改修後の横断樋管は、県に引き渡し維持管理は県が行う予定となっている。

② 金流川の横断樋管の改修工事は、平成 31 年 11 月からの渇水期の工事と想定しており、今年度中に、測量・ボーリング調査、設計業務委託を行い、県に改修工事の申請を行う予定。

#### (2) 開校までのスケジュール見直しについて

① 当初予定していなかった金流川の横断排水樋管の改修工事が加わり、来年度予定している農振除外・農地転用も影響を受ける状況にある。再度、学校建設の各設計業務期間や工事の工期建築工事の着手時期等を見直した結果、平成 34 年 4 月の開校の時期を延期せざるを得ない状況となった。

② 今後は平成 35 年 4 月開校にむけ事業を進める。平成 31 年度末までに、金流川の横断樋管改修工事が完了し、農振地区除外等の諸手続が整い用地取得が完了した段階で、開校時期が確定する。なお、平成 35 年度開校時においても、一部外構工事等が残ることとなる。

### 2 統合小学校整備事業計画の見直し内容

(1) 供用開始・児童数等 (平成 34 年度開校時における見込み) → (平成 35 年度開校時見込み)

① 供用開始：平成 34 年 4 月 1 日 → 平成 35 年 4 月 1 日

② 児童数：517 名 → 474 名

③ 学級数：20 学級【普通学級 17 学級、特別支援学級 3 学級】→ 18 学級

【普通学級 15 学級、特別支援学級 3 学級】

#### (2) 工事等スケジュール

##### 【平成 30 年度】

- ・区画計画に係る住民説明会
- ・建設工事設計プロポーザル
- ・建設工事基本設計、校舎・屋内運動場実施設計 (H30～31)
- ・地質調査 → H31 へ
- ・敷地造成工事实施設計 → H30～31 へ

(新規) → 河川横断樋管改修関係の測量調査、設計

【平成 31 年度】

- ・法規制解除手続き（農振、農地転用等）・校舎・屋内運動場建設工事実施設計
- ・用地取得
- ・敷地造成工事（H31～32） → H32 へ  
（新規） → 河川横断樋管改修工事

【平成 32 年度】 → 【平成 33 年度】

- ・校舎・屋内運動場建設工事（H32～33） → H33～H34 へ
- ・プール建設工事実施設計
- ・屋外環境整備（駐車場整備・校地内舗装・グラウンド整備・遊具等）工事実施設計

【平成 33 年度】 → 【平成 34 年度】

- ・校舎・屋内運動場建設工事（H32～33） → H33～H34
- ・プール建設工事
- ・屋外環境整備工事（H33～34） → H34～H35 へ

【平成 34 年度】 → 【平成 35 年度】

- ・屋外環境整備工事

## （2）花泉地域統合小学校建設にかかる地域懇談会の開催について

平成 30 年 3 月議会において、地域懇談会を開催し地域住民の理解をえるとしておりましたが、これまでの経過を踏まえ、建設予定地の提示のみならず、新たな排水対策工事と開校時期の延期等の変更内容も含め、一関市教育委員会の主催で、各地域において下記の予定で開催します。

地 区	開 催 日	時 間	会 場
永 井	9 月 2 5 日（火）	1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 3 0	永井市民センター
涌 津	9 月 2 7 日（木）	1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 3 0	涌津市民センター
油 島	1 0 月 1 日（月）	1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 3 0	油島市民センター
花 泉	1 0 月 2 日（火）	1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 3 0	花泉市民センター
老 松	1 0 月 4 日（木）	1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 3 0	老松市民センター
金 沢	1 0 月 9 日（火）	1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 3 0	金沢市民センター
日 形	1 0 月 1 1 日（木）	1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 3 0	日形市民センター

H29.12.5の学校経営部会において、スクールカラーの選定について協議が行われた  
<協議結果>

・花泉町の由来となった桜の花及びイメージキャラクターの「はずみちゃん」の配色が「さくら色」であったことから、「さくら色」がスクールカラーにふさわしいのではないかと結論に至った

### さくら色の見本



落ち着いたピンク色系



淡いピンク色系



いわゆるピンク色



イメージキャラクターの「はずみちゃん」



### 町章

昭和36年に制定したもので、花泉の「ハナ」を図案化し「明るい町の発展と町の団結」を表現したもの。  
(大東町 懸田照道氏作)

### 位置

役場所在地 岩手県西磐井郡花泉町涌津  
字一ノ町29番地  
位置 北緯 38° 49′  
東経 141° 11′  
海拔 37 m

### 地勢

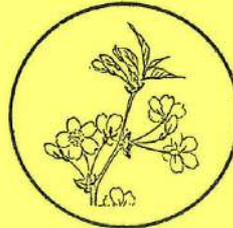
本町は岩手県の最南端に位置し、東西14 km 南北16 km、面積は131.05 km<sup>2</sup>である。東北本線に沿い、東京からは北東 431 km、県都 盛岡とは鉄道で 104 km、約1時間30分、東北の産業文化の中心、仙台までは80 km、約1時間の距離にある。

本町の西は宮城県栗原郡金成町と丘陵で接し、南は同じ宮城県登米郡中田町の田んぼに境し、また夏川を隔てて宮城県栗原郡若柳町と、北は一関市と、東は東磐井郡藤沢町と北上川を境に接している。

## 花泉町の花・木・鳥

(昭和55年 9月27日制定)

伸びゆく花泉町にふさわしく、町民としての誇りと自覚を促し、自然愛護思想の涵養と普及をはかるため、清新な町のシンボルとして花泉町の「花・木・鳥」を次のとおり制定します。



### (花) 桜

日本の代表的な花であり、古来より人々に愛されてきた。また、花泉町名の由来でもあり爛漫と咲きほこる様は、町の未来の豊かさを象徴する。



### (木) 赤松

風雪に耐え、大地にしっかりと根をおろし生育が活気に満ちている様は、町の力強い発展を示し、良材の東山松<sup>とうざんまつ</sup>としても有名である。



### (鳥) キジ

古来より本町に多く生息しており優雅でかしこく、また、勇壮で親子の情が深い様は、町民の賢明さと親愛を表わしている。